

産業標準化推進月間事業

# 標準化と 品質管理

九州地区大会 2023

経済産業省では毎年10月を「産業標準化推進月間」と定め、各地方経済産業局とともに、全国的に産業標準化の普及・啓発に関する各種の行事を展開しています。その結果として、各組織に標準化が定着し、技術の向上や生産の効率化に大きな成果をあげてまいりました。「標準化と品質管理 九州地区大会」はこの普及活動の一環として、経済産業省 九州経済産業局、及び関係団体のご支援のもと、本年度は裏面のプログラムにて開催いたします。JIS認証組織やISO登録組織の方々はもとより、標準化と品質管理を推進しようとする企業の方々のご参加をお待ち申し上げます。

10月10日(火) 13:00~17:00

福岡国際会議場

主催：一般財団法人 日本規格協会 福岡支部

後援：経済産業省 九州経済産業局  
JIS登録認証機関協議会  
日本クオリティ協議会

協賛：一般社団法人セメント協会 九州セメント技術委員会  
全国生コンクリート工業組合連合会 九州地区本部

## プログラム

13:00-13:10	開会挨拶	一般財団法人日本規格協会 福岡支部 支部長 宮崎 義弘
13:10-13:20	日本規格協会グループの活動と新たな取り組み	一般財団法人日本規格協会 理事長 朝日 弘
13:20-14:10	講演 「日本型標準加速化モデル」の実現に向けて(仮) 経済産業省	グローバル市場の変化を踏まえ、日本の標準化活動も、経営戦略と一体的かつ能動的に取り組むことが重要となっており、そのために官民の各主体がどのような経営上/政策上の工夫を講じていくべきか考える必要があります。そのカギとなる、今日的な標準化の効果・効能について、本年6月に日本産業標準調査会基本政策部会が取りまとめた「日本型標準加速化モデル」を用いながらご紹介します。
14:10-14:25	休憩	
14:25-15:25	特別講演 安全はマネジメントそのもの ～安全・品質・環境は企業活動の根幹～ 安全と人づくりサポート 代表 古澤 登	 災害(≠品質不具合)は、職場の問題の代表特性と捉えることが大切です。真の原因には、幅広い課題が含まれています。発生する前にいかに未然防止ができるかがマネージメントをする人・特に管理者の仕事です。多くの企業でデータ改ざんなどの不具合が発生し、問題の顕在化はほとんど内部告発であることが大きな問題と言えます。なぜ内部で問題の共有化と課題解決に向けた活動ができないのか?安全活動の実践事例から考えてみます。
15:25-15:40	休憩	
15:40-16:50	講演 JISマーク表示制度 ～指摘事項・よい事例等、最新審査情報～ JIS登録認証機関協議会 一般財団法人日本建築総合試験所 製品認証センター 認証部審査課 課長代理 安田 真弓	 コロナ禍の3年を通じて新たなる社会システムの構築が模索されています。一方、企業の品質不祥事は依然として発生しています。JISマーク表示制度においても長年の運用による信頼性に加え、DX化等の効率化や、より信頼性の向上を図る改善が求められています。最新の運用状況や登録認証機関協議会(JISCBA)の取り組みをご紹介しますとともに、審査での不適当事例及び品質管理のよい事例を紹介します。
16:50-17:00	閉会挨拶	一般財団法人日本規格協会

報文集は紙での提供をいたしません。必要な方はダウンロード・印刷してご持参ください。

一般申込	
11,000円(税込)	
維持会員の方	
ご加入1口につき1名様	無料 ※8月上旬頃にご招待のご案内をいたします。
口数以上のお申込	5,500円(税込) / 1名様

## 会場

福岡国際会議場 3階メインホール  
福岡市博多区石城町2-1

アクセス 公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。



- 博多駅よりバス[約12分]  
博多駅西日本シティ銀行前 F のりば 88番・99番・BRT
- 天神よりバス[約10分]  
ソラリアステージ前 2 A のりば 80番・BRT

※有料のお申込の場合は、請求書をお送りしますので、請求書に記載の日にちまでにお振込みください。尚、欠席された場合にも原則として返金はいたしませんので、予めご了承ください。

お申込はWEBで

SQ 大会 2023

検索



<https://www.jsa.or.jp/>